

佐呂間町物産展情報

【東京都】

■みなと区民まつり 10月10日(土)～11日(日)

場所：港区芝公園

メニュー：ホタテ浜焼き・サロマ豚串ほか

■江東区民まつり 10月17日(土)～18日(日)

場所：木場公園イベント入口

[入口広場：はるばるバザール会場]

出店：東京サロマ会による佐呂間町物産展

メニュー：ホタテ焼き・じゃかバター
かぼちゃスープなど

サポーターの皆様による「サポーターズ倶楽部リーフレットの配布」お手伝いを数名希望しています。半日以上お手伝いいただいた方にはホタテ焼きなど二品をサービスします！ ※スタッフに会員証をご提示ください。

■なまらいいっしょ！北海道フェア

10月24日(土)～25日(日)

場所：秋葉原「アキバ・スクエア」

メニュー：道の駅サロマ湖特産品

★佐呂間町ふるさと納税ご案内ブース設置

■港区「商店街と地方都市との交流物産展」

10月29日(木)～30日(金)

場所：港区新橋駅前S L広場

出店：佐呂間町観光物産協会・榊柴栄水産・佐呂間漁協婦人部

メニュー：ホタテ浜焼き・焼き牡蠣・ホタテ稚貝
みそ汁

【東京サロマ会】首都圏に住む佐呂間町出身者等で組織して25年を迎えます。江東区民まつりでのサロマ物産展開催のほか、オホーツク・サロマの旬の毛ガニやホタテを食べる集い、ふるさと旅行などを開催しています。会費等不要、佐呂間町出身者以外の方も入会できます。

◆連絡・問い合わせ先：西沢孝洋(たかひろ)さん
電話 047-449-2107 メール：tm24-sawa@nifty.com

ホテルグランディアサロマ湖の今季の営業は10月12日で終了します。(冬期間は休館です)サポーター特典にある日帰り入浴もご利用できませんのでご了承ください。

発見 サロマの魅力！



この醤油ベース秘伝タレのこげた匂いをお届けできないのが残念でなりません。

サポーターの皆様からも「ホタテ焼き」の忘れられない味の思い出のメッセージを沢山いただいておりますが、サロマ湖沿いにある「道の駅サロマ湖」では通年にわたって炭焼きホタテを販売しています。

サロマ湖内で浮遊幼生のホタテの赤ちゃんを採取して、それをサロマ湖とオホーツク海で育てた「美味しい」ホタテですが、サロマ湖が「ホタテ養殖発祥の湖」だということをご存知でしょうか。

今から80年以上も昔の話。当時、牡蠣の養殖試験を行っていた専門家がホタテの稚貝の多さに着目したことにはじまり、戦後の貧困、そして、資源の枯渇。「ホタテ以外に生きる道はなし」と決死の覚悟で青年漁師が挑戦した養殖試験も失敗続き。

30年経った昭和40年にやっと今の養殖技術が確立されて今年で丁度50年を迎えます。今やホタテは北海道の水産を支える一番の魚種となっています。※ホタテ養殖の歴史は

「佐呂間町ホームページ」－「佐呂間町の紹介」－
－「佐呂間町の沿革・歴史」
－「ホタテ養殖発祥『サロマ湖』」をご覧ください。



佐呂間町役場企画財政課

〒093-0592

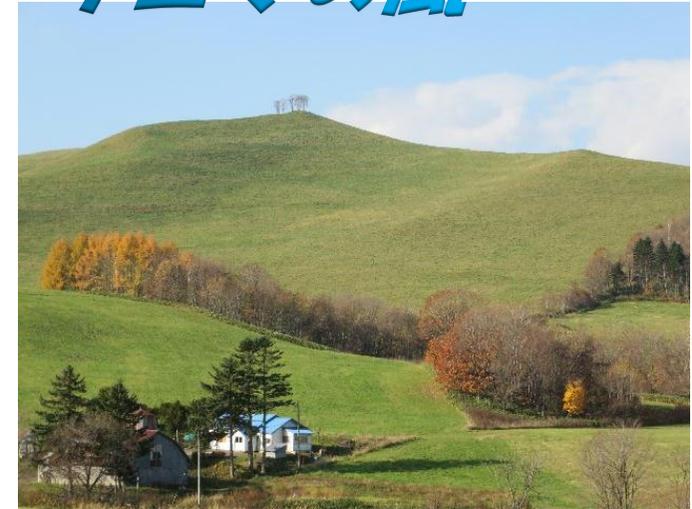
北海道常呂郡佐呂間町永代町3番地1

TEL 01587-2-1214 Fax 01587-2-3368

佐呂間町サポーターズ倶楽部ネットワーク

2015年
10月

サロマの風



秋。春に種を蒔いた農作物も収穫の時期を迎えています。9月上旬から中旬はかぼちゃ、下旬からは東京ディズニーランド20個分弱の面積を誇る乳牛の飼料用デントコーンの収穫が始まり、大規模な作業も今は終盤です。

自宅の周りに自分の畑がなければならぬのは昔の話。今では委託農作業を行う大型トラクターとダンプカーがセットになって一気にコーンを茎ごと収穫。それを町内中心部に設置した貯蔵場に集約して、そこから二日に一度、濃縮飼料とミキシングされたサイレージ飼料がトラックで各酪農家に届けられます。

人呼んで「牛の給食」。農業はそんな時代になっています。(※すべての作業を家族労働で行っている酪農家もあります。)

大掛かりな収穫で残るのは、砂糖の原料となる甜菜(てんさい)とも呼ばれるビート。ビートは畑に長く置けばおおくほど糖度が増すので、紅葉の時期が過ぎた10月下旬に収穫期を迎えます。

その頃の景色は…落葉松の葉がオレンジ色に変わって、まるで北欧の農村を描いた油絵のようなキャンバスそのもの。暦が替わると、早くも高い山からは雪の便りが聞こえてきました。(写真：晩秋の北区町営牧場)

We ♥ Saroma

佐呂間ダイアリー

◆7月

- 9日 姉妹都市・アラスカ州パーマ市を訪問
(～18日) 訪問団 20名
12日：姉妹都市提携 35周年記念式典
- 10日 (～12日) 札幌ドームグルメグランプリ
ホタテ浜焼き順位：第6位 (3,540皿売上)
- 11日 (～12日) 第66回佐呂間高校祭
オホーツクサイクリング佐呂間町通過
- 17日 第43回佐呂間町老人クラブ連合会 GB大会
- 18日 第1回JAサロマ組合員交流会
- 24日 宮前町 西田愛子さん百寿祝贈呈
- 25日 佐呂間町商工会青年部ビアパーティ
- 28日 沢田知可子コンサート (町民センター)

◆8月

- 1日 日本ハムファイターズによる札幌ドーム応援ツアー
佐呂間町民 100名が野球観戦
- 9日 第9回全町ソフトボール大会
- 21日 地方版総合戦略策定にかかる意見交換会
札幌交響楽団ミニコンサート in 佐呂間
- 22日 第2回さろまちコン

◆9月

- 6日 第28回シンデレラ夢 2015まつり
ふれあい広場 2015 サロマ
- 8日 姉妹都市学生交流事業でパーマ市訪問
佐呂間中学生 6名 (～24日)

佐呂間町の世帯数と人口 (平成 27年 9月 30日)

世帯数	2,543世帯	人口	5,547人
佐呂間町サポーターズ倶楽部	人口	556人	
合計		6,103人	

町民の出生届と死亡届 さろサポ登録者累計

7月	出生 2人	死亡 1人	443人
8月	出生 3人	死亡 2人	533人
9月	出生 2人	死亡 2人	556人

佐呂間町サポーターズ倶楽部会員の森ホームページ
栃木県の小説家 水樹涼子さんが綴るサロマ湖の旅エッセイ「我がサロマの休日」を掲載しました。

今年で第28回目となるシンデレラ夢 2015 まつりが9月5～6日に開催されました。

6日、まつり当日のメインは何といてもジャンボカボチャの重量を競うパンプキンコンテストです。今年は佐呂間町内外から80個のジャンボカボチャが集まり、来場者の目を楽しませてくれました。

見事グランプリ賞に輝いたのは、はるばる上川管内比布町から約130kmの道のりを軽トラックでやってきた澁谷興二さんの237.2kg。二年連続二度目の優勝でした。

コンテスト佐呂間町民の部では啓生の十亀道雄さんが181.0kgで三年連続9度目の町民大賞を受賞しました。



5日、前夜祭の夢パレードにはファミリー部門・団体部門18チームが参加して、踊りあり仮装ありのパフォーマンスを披露、沿道から大きな拍手を浴びていました。



プロ野球「日本ハムファイターズ」球団が道内の市町村を応援する「市町村応援大使事業」の一環で、8月1日に佐呂間町民



100名が札幌ドームに招待されました。

約1.3倍の倍率で当選した佐呂間町民100名が3台のバスで夢のドームへ。試合前にはチームマスコットの「B・B」が町民席にやってくるファンサービスに皆大感激。ゲームの最終回には佐呂間町応援大使のストッパー増井投手がマウンドに上がり、町民の興奮も最高潮となり応援に熱く燃えた応援ツアーでした。



9月下旬、町内富富士(とつぶし)で「ちりめん青シソ」の収穫が始まりました。バインダー機で刈り取り後シマ立てした青シソは、このあとハザ掛けして乾燥し、蒸留して油を採取します。

佐呂間町内では現在12戸の農家で33ヘクタールのシソが作付けされています。茎を含めた140kgのシソから1リットルの油ができ、シソ油は香料やドレッシングの原材料として使われますが、佐呂間のシソは香りが高く不純物が少ない特徴があります。

蒸留作業は一釜蒸すのに一時間。町内仁倉(にくら)にある蒸留施設では、この作業が10月中旬から一ヶ月間ほど続けられます。